

Rotary
District 2640



人類に
奉仕する
ロータリー

2016-2017

3月

地区テーマ

対話から新たな一歩へ
共に楽しむロータリー

GOVERNOR'S
**MONTHLY
LETTER**

水と衛生月間

ガバナー 福井 隆一郎
Governor *Ryuichiro Fukui*



District
2640

2016-2017 年度
国際ロータリー第 2640 地区 ガバナー事務所

〒590-0985 堺市堺区戎島町 4-45-1 ポルタスセンタービル 1 階 101 号室
TEL (072) 223-1000 / FAX (072) 223-1005
HP : <http://rid2640g.com/fukui> / E-mail : fukui2016@wind.ocn.ne.jp



ポリオ撲滅をご支援ください。

2016-17年度は「ロータリー財団創立100周年」です



<http://rid2640g.com/fukui/>



<http://www.rotary.or.jp>



<http://www.facebook.com/RotaryJapan>

目 次

3月のR I 会長メッセージ	R I 会長 ジョン・ジャーム	1
3月のガバナーメッセージ	ガバナー 福井 隆一郎	2-4
コーディネーターニュース 3月号		5
ハイライトよねやま 203		6-7
分区4和歌山「分区内での活動報告」	ガバナー補佐 谷口 寿英	8
第9回全国 RYLA 研究会 報告書	地区青少年・ライラ委員長 澤井 久和	9
識字率向上運動への御協力のお願い	地区社会奉仕委員長 笹島 良雄	10
地区活動報告		
青少年交流会	地区インターアクト委員長 木本 圭二	11
青少年交換長期受入学生のオリエンテーション ～伊勢旅行		
	地区青少年交換委員会 委員 田中 博章	12
インターアクト海外研修報告会		
	地区インターアクト委員長 木本 圭二	13
クラブ活動報告		
2016年度『堺かるた』大会	堺清陵ロータリークラブ	14
和歌山市内 9RC インターシティ ミーティング (I.M.) 報告		15-16
ロータリー モニュメント		
和歌山電鐵貴志川線のインフラ整備	和歌山東南ロータリークラブ	17
我がクラブのテーマ		
和歌山東ロータリークラブ、和歌山北ロータリークラブ		18
田辺はまゆうロータリークラブ、橋本ロータリークラブ		19
地区会員数・出席報告	2017年1月	20
行事予定	2017年3月	21

多様性が私たちの強み

2016-17 年度 国際ロータリー
会長 ジョン・ジャーム

親愛なるロータリアンの皆さん、40 年前、カリフォルニア州デュアルテ・ロータリークラブ (RC) は、国際ロータリー (RI) の定款に反して 3 人の女性の入会を認めました。その結果、RI は同クラブの加盟を終結しました。



しかし、会員たちはこれに屈することなく例会を続けました。ロータリーの徽章の上に「X」をつけた新しいバッジを作り、デュアルテ元 RC として、女性がロータリアンとして奉仕する権利のために闘い続けました。その 10 年後、RI に再加盟したデュアルテ RC から、ロータリー初の女性クラブ会長としてシルビア・ウィットロック氏が会長エレクト研修セミナー (PETS) に参加しました。ほどなくして、1989 年、規定審議会が男性だけの入会資格条件を永久に削除しました。

今日、ロータリークラブには 24 万人以上の女性会員が所属し、かつてないほどに強い組織となっています。私たちは、自らの地域社会に奉仕する 3 万 5,000 を超えるクラブに所属している世界中のほぼすべての国からの男性会員と女性会員です。クラブレベルにおいて、ロータリーはあらゆる種類の経歴、年齢、文化、職業の男性と女性を必要としています。国際レベルでは、世界中のあらゆる地域、国、町でクラブを必要としています。クラブが地域社会を反映していればいるほど、地域社会により良く奉仕できます。多様性はロータリーの強みです。

ロータリーに女性会員を迎えるという考えに

なぜそんなにかたくなに反対したのか——今となっては、私たちの大半にとって想像しがたいことです。振り返ってみると、その反対は、ただ単に変化することへの抵抗にすぎなかったのだと思います。ロータリアンたちは当時のロータリーのあり方を信奉していたために、ほかのあり方など想像もつかなかったのです。

今でも、私たちのロータリーに対する情熱は少しも色あせることはありません。私たちはロータリーで自分たちが育む友情や絆、そして人類に奉仕するためにロータリーが私たちに与えてくれる力量を、心から大切に思っています。自らの人生にとっても、世界にとっても、ロータリーには非常に大きな価値があると信じています。また、ロータリーが成長し続けるためには、私たちが奉仕するこの世界をありのままに受け入れなければならないこと——その多様性、その多種多様なあり方、そして変わり続ける奉仕のニーズを受け入れなければならないことを、これまで以上に実感しています。

今日のロータリアンは 40 年前のデュアルテ RC に恩義があります。このクラブの会員たちの強固な意志、不屈の精神、不変の善意が、「人類に奉仕するロータリー」という今日の私たちの土台を築いたのです。



John



ガバナーメッセージ

国際ロータリー第 2640 地区
ガバナー 福井 隆一郎

ガバナーノミニー デジグネート 選出について

1月27日、各クラブへ郵送で、2019～20年度のガバナー候補者の推薦をお願いしています。未来に向けた素晴らしいガバナーの出現を、期待をしています。



地区決議会

4月9日（日）和歌山J A会館にて、地区決議会を開催いたします。よろしくお願い申し上げます。

松原ロータリークラブ

2月18日、松原商工会議所で第10回特別講演「夢をかなえる健康づくり」、市民公開講座が行われました。



会場には大勢の観客が訪れ、大変楽しいプログラムが開催されました。岡 正樹会長のご挨拶の後、「アドベンチャー

ワールド飼育奮闘記」の題目で飼育部長中尾健子氏とペンギン飼育担当の佐藤翔太氏が講演されました。パンダの赤ちゃんの話や、ペンギンのかわいい動作などビデオを交えて、楽しいお話でした。最後には抽選会も行われ、大いに盛り上がった一日でした。アドベンチャーワールドを経営する株式会社アワーズは、松原市に本社がある未来に夢をはぐくむ素晴らしい企業です。その縁で、松原ロータリークラブは市民の方々へ、楽しい講座をなんと、10回も開かれています。今後も益々、楽しい企画をお願いいたします。

田辺はまゆうロータリークラブ 創立 25 周年

1992年（平成4年）2月 初代会長の初山善三郎さんによって、創立され、以後ロータリーの素晴らしい奉仕活動を続けてこられました。地元の田辺市の中心ロータリークラブとして、地域に密着した活動を進めてこられました。とりわけ社会奉仕のひとつとして毎年行われる天神崎を含む田辺湾クリーン作戦（清掃活動）に参加されています。これは、大いに誇っていただく田辺はまゆうロータリークラブの、大きな勲章であると思います。田辺はま



ゆうロータリークラブは、この度ユネスコ世界遺産に追加登録された闘鶏神社で、例会をされているという、日本のロータリークラブでは例を見ない環境で、私も、世界に誇れる素晴らしいものだと思います。

ガバナー会

2月1日 東京のホテルニューオータニでガバナー会が、開催されました。当日はガバナー会の議長 上山昭治氏の所属する2580地区（東京・沖縄）の地区大会が開催する日でした。終了後全員が、地区大会にも出席しました。全34ガバナーが出席され、活発な議論が行われました。当日、斉藤理事も出席され、ご挨拶の中で、規程審議会の統一見解についてお話をされました。何度かご説明していますが、7月 今年度発足時に今回の規程審議会について、統一見解を出すとの事でしたが、自主性に任せるのが賢明だとの多くの方々の意見に従ったとの事です。又、ゾーンの取り決め、変更についてのお話がありました。11月のロータリー研究会でジョン・ジャームR I会長は、日本の会員数の減少と財団寄付金の減少を上げ、今の3ゾーンから2,5ゾーンに変更する可能性を示唆されました。斉藤理事はそれについて反対の表明をされたということですが、6月の理事会で決定される予定との事です。つまり日本だけではなく外国とゾーンを組むとの事で、その候補として、インドネシア、バングラディッシュ、パキスタンがあげられています。新潟以北の地区が同ゾーンになるようです。

インターアクトクラブ 青少年交流会

2月5日 羽衣学園にて、インターアクト 青少年交流会が行われました。藤原ガバナー補佐、豊岡ガバナー補佐、竈次期ガバナー補佐や多くのロータリアンが、応援に駆けつけていただきました。檜畑ガバナーノミニーも、お越しいただきました。又ローターアクトから鈴木代表はじめ、多くの会員が参加され、大変にぎやかな交流会になりました。ロータリーは多くの青少年の健全な育成を目指しています。交流会の中でロータリーの基本的な知識を説明頂きました。鈴木代表は、ご自分の体験の中から、実際にアクトの活動をして、今回はアクトの代表として、経験したことがご自分の成長に大変つながった事。色々な方々と知り合いになったことなど、進んでアクトの活動することによって、成長することをお話しされ、大変な感銘を受けました。お兄さん、お姉さんにあたる大学生としてのお話も、すばらしいと思います。先日の海外研修を含めて、この交流会でインターアクトの皆さんは、益々、ロータリーの素晴らしい奉仕活動に邁進していくことを期待しています。

又、2月19日清風南海学園でインターアクトの海外研修旅行発表会がありました。映像を見て、学生は楽しかった旅行の思い出に浸っていました。素晴らしい体験でした。当日、平岡パストガバナーも、応援に、駆けつけていただきました。

地区財団委員会

2月12日和歌山にて、地区財団委員会が開かれました。主な議題は財団ハンドブックの内容について、地区補助金の扱いについて、そして、年次寄付クラブ0クラブが0になるようにとの内容で、会議が進められました。村上R F F Cをはじめ次期の委員長の皆様も参加されました。財団は今年100周年の記念すべき年です。財団への理解を深めていきましょう。ロータリーの奉仕活動の大きな役割が財団活動にあります。財団の中身をよく研究して理解し、活発な活動を期待しています。

諮問委員会

2月14日諮問委員会が、ガバナー事務所で開催されました。次年度のテーマ・方針等をパストガバナーの皆様と話し合われました。



会員増強について

以下、2650地区 刀根ガバナーの見解です。ご参考にしてください。

会員増強の新しい考え方

2015年ころから、国際ロータリー(RI)の会員増強の視点が少し変化してきたように思われます。従来、RIは会員増強と言えば、Membership Development(直訳すれば会員開発)という言葉が使われ、公式日本語訳は会員増強となっていました。昨今、このDevelopmentに代わり、”attraction and engagement”と言う英語が使われるようになり、ロータリー章典に書かれている関係する項目が全てこの言葉に置き換わりました。この、”attraction and engagement”という言葉は、以前の単に会員の勧誘と繋ぎ留め(member recruitment and retention)という言葉から一歩踏み込んで、ロータリークラブの会員になることの魅力を高め、会員として所属クラブとの関わりや絆を深めるという事になるのだと思います。

このような変化の中で、2016年1月理事会で、RIの会員増強戦略計画が下記のように改訂され、4つの戦略が示されていました。

5.030. RI会員増強戦略計画 RI Membership Strategic Plan

戦略一協調された組織的フォーカス(集中)

Strategy-Coordinated Institutional Focus

目標

- ・RIおよびTRFのシニアリーダーや職員は、(会員増強に)継続した協調的ビジョンを示し、それに焦点を当て、そして関与する。

- ・地域別会員増強戦略計画に含まれる、会員増強のイニシアチブ評価と会員増強報告/測定を強化する。
- ・革新、柔軟性およびロータリーの財政的安定性を強化に関する立法案について助言する。
- ・ポリオ撲滅がロータリーの外部へ向けての最優先課題であるが、一方、会員増強は国際ロータリーが一貫して内部的な最優先課題であるということを確認する。
- ・私たちの使命や組織の目的、誰が私たちの(会員増強の)ターゲット層であるか、あるいは誰が私たちの顧客(奉仕の対象)であるかについて組織のコンセンサスを確保する。

戦略一クラブ能力開発 Strategy-Club Capacity Building

目標

- ・ロータリーの経験を向上させる方法を確認する。
- ・ロータリーの理解を増加させ、ロータリーのリソースの利用を促進する。
- ・地区およびクラブの会員増強チームを強化する。

戦略一会員に惹きつける(会員となる魅力)

Strategy-Member Attraction

目標

- ・代替となるモデルを開発し、また私たちの(会員増強の)ターゲットとなるマーケットにアピールする更なる方法を開発する。
- ・各世代における(会員増強の)ターゲットとなる層に訴える、世代横断型で分割型マーケティング戦略を実行する。
- ・会員の資格に基づき、ロータリーにおける全ての年代、性別、地域別、そして職業分類の多様性を向上する。

戦略一会員エンゲージメント(会員としての関わりや絆を深める) Strategy-Member Engagement

目標

- ・退会防止を図るために、現存するあるいは終結クラブの会員の追跡調査を継続支援する。
- ・効果的なクラブや会員となるため、会員であることの意識向上の機会を強化する。
- ・地域社会におけるロータリーの認知度を向上させる。
- ・RI年次大会やロータリーの会合を、会員同士がより良い関係を作る機会として利用する。
- ・新会員のオリエンテーションや個人指導を推進し、積極的に売り込む。

(2016年1月理事会会合、決定104号)

戦略一会員エンゲージメント(会員としての関わりや絆を深める) Strategy-Member Engagement があるのです。

- Member Attraction … 会員になる魅力
会員になるよう惹きつける、会員魅力度
- Member Engagement … 会員エンゲージメント
積極的参加、関わりや絆を深める、会員愛着度

この決定のちょうど一年前の2015年1月の理事会決定(181号)では、DLPが改定され、ガバナー補佐の役割に、「会員に惹き込み、積極的参加を促すことの重要性を強調する」ことが謳われています。(emphasize the importance of membership attraction and engagement)

また、地区委員会の推奨名称も、Membership Development Committee (会員増強委員会) から Membership Attraction and Engagement Committee (入会・参加促進委員会) に変更になりました。文字通り、委員会の役割として、「会員を惹きつけ、ロータリー活動に積極的参加させる」こと (membership attraction and engagement) が求められているのです。

さらに、地区が主催する地区会員増強セミナーの主題のなかにも、この2つの要素が推奨されています。

20.100.3. 地区会員増強セミナーの構成 District Membership Seminar Components

プログラムの前述の目的を達成するために、地区会員増強セミナーには次のような構成要素が含まれる。

- ・ 会員概観 (会員とは)
- ・ クラブ活動への積極的参加
- ・ クラブ会員となる魅力
- ・ 新クラブの拡大
- ・ 会員の役割と責務
- ・ 活気あるロータリークラブ
- ・ 試験的クラブ
- ・ リソース

(2015年1月理事会会合、決定118号)

ところで、2016年4月の理事会決定で、RI 戦略計画の優先項目のクラブのサポートと強化の中にもこのことが反映されており、「会員の勧誘と維持を改善する」(Improve member recruitment and retention) の項目が「会員魅力度の向上と(ロータリー活動への)積極的参加促進」(Improve member attraction and engagement) に変更されました。

また、RI会長の会員増強における役割 (President's Role in Membership Growth)

も変更され、R新クラブの結成および会員の魅力度と愛着度向上の達成のための、RI会長は特別で達成可能で、測定可能な目標を定めるように求められるようになりました。

RIの会員増強に関する方向性の変化を見ると、おのずと今後のRIの会員増強の考え方を再確認できるように思います。

すなわち、会員となる魅力向上はクラブの将来ビジョンに繋がり、会員エンゲージメントの向上はクラブの友情・友愛、もっと言えば、会員同士の絆に繋がっていくように思われます。

会員となる魅力 (Member Attraction)・・・クラブの将来ビジョン

- ・ 会員の魅力 (あのような素晴らしい人たちがいる

から)

- ・ 会員となることの魅力 (新しい友人、自己啓発、事業上のアイディア交換)
- ・ クラブの魅力 (魅力的な奉仕活動、奉仕の感動)

会員エンゲージメント (Member Engagement)・・・クラブの友情・友愛

- ・ クラブ活動への積極的参加によるクラブ愛着度の向上
- ・ 会員同士の親睦と友情。絆づくり。
- ・ ロータリーライフを通じての個人的成長 (ロータリーの存在価値)





■ 新クラブ設立

ロータリークラブ名 : 相模原ニューシティロータリークラブ
地区 : 第2780地区
スポンサークラブ名 : 相模原ロータリークラブ
承認年月日 : 2017年1月25日
日本での承認順位 : 2397番目
創立会員数 : 38名(男性36名 女性2名)
会長 : 大隈 秀仁 様
幹事 : 鈴木 高広 様
クラブ連絡先 : 〒252-0239神奈川県相模原市中央区中央3-12-3
相模原商工会館5F (スポンサーの相模原RCと同じ)
TEL : 042-753-2020
例会日時&例会場 : 第1&3木曜日 19:00~20:00 にしもぐらホール

■ クラブ数 会員数

Zone 1	829	28,694
Zone 2	653	28,153
Zone 3	791	32,931
合計	2,273	89,778

2017年2月12日現在の Rotary Club Centralのデータによります。
第2ゾーンの数値には
GUAM, MICRONESIA, NORTHERN MARIANAS, PALAUが含まれます。

■ BOX登録件数 184件(1. 2. 3ゾーン合計)



ロータリー:
変化をもたらす

■ **BOX**とはゾーン1.2.3の公共イメージコーディネーターの発案により開始された「クラウドBOX」の事です。クラブや地区が奉仕事業やロータリー活動の新聞記事を投稿して下さい。
<rpjicjapan@gmail.com>に「詳細希望」という件名で空メールをお送りいただくと投稿および、閲覧方法が自動返信で届きます。各クラブの奉仕活動の新聞記事を閲覧することができます。

■ 国際協議会で国際ロータリー会長エレクトの講演から

1月16日(月)、米国サンディエゴで開催されたロータリー国際協議会で国際ロータリー会長エレクト、イアン H.S. ライズリー氏(オーストラリア、サンドリンガム・ロータリークラブ所属)が講演し、2017-18年度の会長テーマ「ロータリー:変化をもたらす」を発表しました。

講演は国際ロータリー理事会がロータリー全体のために現在の戦略計画で定めた3つの戦略的優先事項について以下のように述べられました。

- ・クラブのサポートと強化については
会員の大半が60歳以上であることにも触れ、若い世代の入会と参加を促す方法をクラブが模索する重要性を訴えました。「若い会員の入会促進に真剣に取り組まなければ、10年後、20年後にロータリーがどうなっているかを想像してみてください」と述べ、クラブ会員の男女のバランスを改善し、平均年齢を下げるよう求めました。

- ・人道的奉仕の重点化と増加については
ロータリーの6つの重点分野の不可欠な要素の一つが、「持続可能性」であるとして、ポリオ撲滅は、持続可能な奉仕の究極と言えます。その投資が世界的な規模で生み出す恩恵は、長期的であるだけでなく、恒久的であると述べました。

- ・ロータリー公共イメージと認知度の向上については
一貫したブランドを伝えることの重要性和、ロータリーのストーリーをより効果的に伝えられれば、ロータリーにふさわしい新会員の入会を増やすことができるでしょうし、ロータリーの奉仕でより大きな成果を上げるために協力するパートナー団体を増やすことができると述べました。

これらの優先事項をすべてまとめると、一つの言葉になり、それは「持続可能性」です。持続可能性には、あらゆることを支えるもう一つの側面があり、それは、この地球の持続可能性です。持続可能な奉仕というロータリーの目標にとって、環境保護と温暖化抑止が極めて重要であると訴えました。

さらに、7月1日の新年度開始から2018年4月22日の「アースデイ」までの期間に、各クラブで会員数と同じ数の植樹をするよう呼びかけ、木を植えることで、空気中から二酸化炭素やそのほかの温室化ガスを除去し、地球温暖化のスピードを和らげる効果があると続けました。「この取り組みで120万本の新しい樹木が植えられ、環境への良い影響があるでしょうし、この取り組みを通じて、この地球に住む人だけでなく、地球そのものを救う責任がロータリーにはあると、私たちが気づくことです」と会長エレクトは訴えました。

(第1ゾーン ロータリーコーディネーター 酒井正人 函館五稜郭RC)



ハイライトよねやま 203

2017年2月13日発行
公益財団法人ロータリー米山記念奨学会

寄付金速報 — 下期の寄付状況 —

1月までの寄付金は前年同期と比べて5.6%減（普通寄付金2.6%増、特別寄付金9.8%減）、約6,100万円の減少となりました。前年度と比較すると減少額は大きいですが、累計金額としては直近5年間のほぼ平均額となります。

1月は普通寄付金（クラブで決定した金額×会員数分でお送りいただく定期寄付）下期分の納入が主になります。今年度は1月末までに全クラブの76%、1,718クラブから納入いただきました。引き続きご協力賜りますようお願いいたします。

2017学年度米山奨学生の選考を全地区で実施

2017年4月採用の新規米山奨学生の面接選考が12月から1月末にかけて、全国34地区の各選考委員会によって行われました。指定校からの申込者1,358人のうち、学部・修士・博士課程奨学金と地区奨励奨学金を合わせた586人（枠）が合格予定です。現在まで報告を受けた合格者の出身国・地域は、中国、ベトナム、韓国、台湾、モンゴル、マレーシアなどが多くなっています。

今後、他の奨学金合格等による辞退・繰上げによって、人数と国籍の変動が見込まれます。このほか、現役奨学生の延長制度であるクラブ支援奨学金には2人が合格しました。海外からの個人直接応募制度の海外応募者対象奨学金、および、海外学友会推薦奨学金は現在選考中です。2017学年度の奨学生数は、新規合格者と昨年度からの継続奨学生を合わせた780名（枠）となります。

副理事長就任のお知らせ



前副理事長、杉谷卓紀氏（玉名RC）のご逝去に伴い、当財団規程に基づき、役員候補者指名委員会で副理事長候補者を選任し、理事会にて承認されました。

2017年2月1日付で、^{はなわ はるお} 堀 東男氏（第2820地区 笠間RC、現常務理事）が公益財団法人ロータリー米山記念奨学会 副理事長に就任しましたことをお知らせいたします。

貧困学校支援プロジェクトを実施 — タイ米山学友会 —

タイ米山学友会が1月21日、タイ国中部の-span>ブリー県にあるワットブングカー学校を訪問し、「貧困学校支援プロジェクト」を実施しました。参加者は、タイ米山学友会の会員12人と、その家族・友人ら、合わせて28人。ワットブングカー学校からは、教職員4人と、児童40人が参加しました。

当日は、タイ学友会の会員をはじめ、企業や一般の方からの支援で集まった、現金や文房具、制服、スポーツ用品など、勉強と生活に必要なものが児童たちに提供されました。また、参加者は、児童たちと一緒にゲームをしたり、お菓子やアイスを食べたりして、交流を楽しみました。

タイ米山学友会幹事のワシン・テイシャチャイニランさんは、「勉強する環境に困ることなく、子どもたちの輝く未来を願っています」と、活動に参加した学友たちの思いを報告してくれました。



スリランカ米山学友会が第1回総会を開催

スリランカ米山学友会の第1回総会が1月7日、コロンボ郊外のマハラガマで開催され、ラクナース・ガマガ会長（1993-95/宇部西RC）をはじめ学友7人が出席しました。

総会では1年間の活動報告のほか、今後の総会開催時期について検討がなされました。また、幹事長補佐をつとめるサマンタ・テリッジャゴダさん（2000-01/羽島RC）が、学生に向けたIT関連セミナーを行うことが決まりました。これは、日本留学で得た知識をスリランカの若者へ伝えていきたいという、学友会としての活動提案です。

このほか数人の学友が役員に任命されました。

ラクナース会長は、居住地が離れているなどの理由で学友が集まりにくい実情をふまえたうえで、「われわれの学友会の価値を高め、より魅力的な存在となるために、今いるメンバーのさらなる努力が必要だ」と訴え、「個人レベルではなく、学友会という組織だからこそできるような活動をやっていこう」と、熱心に呼び掛けました。

創立1周年を迎える今年6月には、記念式典を開くとのことです。



第2620地区学友会がスリランカの子どもに文具寄贈

第2620地区（静岡県・山梨県）米山学友会では、副会長のペレーラさんの提案で、彼の母国スリランカの子どもたちに文房具を寄贈する奉仕活動を企画。学友会会員のほか、ロータリークラブや個人などから合計22万円の寄付を集め、それを元に129人分の文房具セットと鍵盤ハーモニカなどの楽器、図書館の図書908冊を購入し、現地の小学校に寄贈しました。

1月13日にスリランカ北部エリヤーワ村の小学校で行われた贈呈式には、同学友会役員4人と学友会に関わりの深いロータリアン2人を合わせ計6人が出席。一行は、全校生徒と先生、多くの村民から温かな歓迎を受け、贈呈後、生徒たちからお礼の言葉と歌が贈られました。また、その前日夜には、スリランカ米山学友会のラクナース会長ら3人のメンバーが駆け付け、国を超えた学友会同士の交流も実現しました。

第2620地区米山学友会の篠原暁恵会長は、「今回、スリランカの地方では、子どもたちに必要な文具や図書がとても不足していることを知りました。参加した役員全員、機会があれば、この有意義な事業を続けたいと思っています」と語りました。



公益財団法人ロータリー米山記念奨学会
〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3F
Tel : 03-3434-8681 Fax : 03-3578-8281

E-mail : highlight@rotary-yoneyama.or.jp
URL : <http://www.rotary-yoneyama.or.jp/>
編集担当：野津(のづ)・峯(みね)

分区4 和歌山

「分区内での活動報告」

ガバナー補佐 谷口 寿英

分区4のクラブ（橋本RC、粉河RC、岩出RC、高野山RC、河内長野高野街道RC）の交流を紹介させていただきます。



◎分区4 和歌山の活動

○会長・幹事会の開催

8月、2月、6月（新・旧合同）少なくとも年3回橋本の湯の里（橋本RC会員）、情報の交換、親睦を兼ねて開催。



○合同例会の開催

毎年2月か3月に5クラブ合同例会の開催
今年の4月27日（木）予定 岩出ロータリークラブ主幹

場所：岩出 根来寺近くの一乗閣（和歌山県の県議会議事堂を昭和37年根来寺内移築今回再移築した）



内容：岩出RCの伝統である青少年交換事業で、過去の青少年交換学生の報告

◎分区4 和歌山内での交流

○橋本RC。高野山RC。河内長野高野街道RC 五条RC 合同ゴルフコンペ（年2回）

○粉河RCと岩出RCの交流

○昨年12月8日（木）合同例会

講師：栗原小巻氏

往年のアイドルの面影を思い出しながら今、取り組んでおられる「松井須磨子」の舞台の事など話された。



○第九コンサート開催

2014年に岩出RCの主催でこの合唱団が始まり、4回目の今回は紀の川市の皆様に参加を呼びかけ公演となりました。

オーケストラ 30名

地元合唱団 170名

（ロータリアン12名）

来場者 約600名



みんなで歌おう！
フライデ シューネン ゲッテる フンゲン トッホテル アオス エリーズイウム
Freude, schöner Götterfunken, Tochter aus Elysium.
ヴィール ペトリーテン フォイエるトるンケン ヒムリッシュ ダン ハイリッヒトゥム
Wir betreten feuertrunken, Himmelsche, dein Heiligtum!
ダイネ ツアオべる びンデン ヴィーデる ヴァス、ディー モーテ シュトレング グタイルト
Deine Zauben binden wieder, was die Mode streng geteilt:
アッレ メンシェン ヴェーデン ぶりーデる ヴォー ダン ゴンフデる フリーゲル ヴァイルト
alle Menschen werden Brüder, wo dein sanfter Flügel weilt.

最後にみんなで一緒に「ふるさと」を合唱し、満足感を持った公演でした。YouTubeでも動画がみられるそうです。

「みんな 友達になろう」

「アッレ メッセエン ヴェーデル」

第9回全国 RYLA 研究会 報告書

地区青少年・ライラ委員長 澤井 久和

平成 29 年 2 月 5 日、
東京国立オリンピック
記念青少年総合センタ
ーに於いて、第 9 回全国
RYLA 研究会が開催され、
出席してまいりました。



出席者は、日本全国各地の RYLA に関係、
興味のあるロータリアンで、約 100 名の参加
となりました。各地区 RYLA セミナーの発展
していく為に、どういふことをしていけば良
いか、国際化、多様性という点から考え、意
見を交換しました。



基調講演から始まり、基調講演ではロータ
リアンは今以上に若者と多く語る必要性と、
日本の RYLA が活発な行動を展開し、世界の
RYLA の中軸になるように努力することを強
く語られました。

また、「日本における RYLA の普及」ですが、
現在、日本の 34 地区のうち 28 地区が地区
RYLA を実施しています。反対に、まだ 6 地
区が実施していないということです。

まだまだ RYLA の認知度は、ロータリーの
中でさえ足りないのが現状で、ロータリアン
はより一層ロータリーの内外で、RYLA の意
義と可能性を伝える必要があると思われる
ことも語られていました。

あと、RYLA 経験者の 4 人の方々も、体験
談を熱く語っていただき、4 人とも共通する
のは、RYLA に参加して大変良かったことと、
自分自身が良い方向に変わったことや、自分自
身に自信がついたことも語っていました。ま
た、次の若者達に伝えたいことも言っておら
れました。



テーブル会議では、各地区の RYLA セミナ
ーの実施の仕方、予算、人数等 特色と問題
点を議論させていただきました。各地区の特
色があり、各地区とも参考になったと思われ
ます。今回の研究会において、次世代を担う
若人達に、RYLA セミナーを通じて、ロータ
リーの理念の意味と重要性を理解していただ
き、将来のロータリアンになっていただきた
いと願っております。



識字率向上運動への御協力をお願い

地区社会奉仕委員長 笹島 良雄

世界には、読み書きできない人が約10億人と想定されます。その内、7億人が女性と言われます。地域的には大半がアジアと言われます。近年はデジタルデバイスと表現される識字率の差が更に進み、その為に、貧富の差が大きくなり、社会トラブル或いは戦争という事態まで広がりつつあります。そして女性の識字率は、子供の教育や環境問題まで大きく影響いたします。まさに識字率の悪化は、諸悪の根源とさえ言われています。

国際ロータリー会長も年次の初方針には必ず



識字率の向上をテーマにしておられます。

我が第2640地区も、以前の寺小屋運動の時代から、この運動を推奨テーマにして傾注いたしております。この運動の具体的施策は、ユネスコと協調し、対象先をお任せしております。

そしてユネスコより当地区に、感謝の意を表されております。当地区としては、各クラブへは推奨事業として提案しておりますが、出来ることなら各クラブ、会員が共通意識を持って更に賛同、ご協力していただければと念じております。

1. 募集物

- 書き損じ葉書（年賀葉書の書き損じ等）



- 未使用切手（封筒、葉書に貼り付けした状態も可）



- 未使用のテレホンカード（一度でも使用しているものは不可）



- 日本円（お札、硬貨いずれも可）

2. 募集期間 2月1日～3月31日

（各クラブにて一括取りまとめ、ガバナー事務所にお送りください）

3. 協賛先 日本ユネスコ協会連盟

4. 送付先 ガバナー事務所

〒590-0985 堺市堺区戎島町4-45-1
ポルタスセンタービル1階 101号室

【振込先口座】

紀陽銀行 堺支店 普通預金 750795
国際ロータリー第2640地区2016-2017年度
ガバナー福井隆一郎

*国際ロータリー第2640地区のみでも振り込み可能

地区活動報告 青少年交流会報告

地区インターアクト委員長 木本 圭二

青少年交流会を平成 29 年 2 月 5 日、羽衣学園高等学校で開催いたしましたので、報告します。

今年度の青少年交流会はローターアクトクラブを招き、午前中はローターアクトクラブのメンバーからロータリークラブや青少年奉仕活動についての勉強会を開催しました。ローターアクトクラブのメンバーは熱心にロータリークラブの事を学び、解りやすくインターアクト生にロータリーの歴史から米山奨学生、青少年交換留学制度などについて熱く語ってもらいました。

午後のプログラムでは海外留学を経験した『トビタテ』のメンバー 8 名によるインターアクトのための留学支援講演会を企画してもらいました。

パネルディスカッション方式で、テーマを持ち勉強している先輩たちは、どんな学校生活や留学の体験をしたか？トビタテ生の体験談を聞いた後、ボランティア活動や海外活動を積極的にしているインターアクトクラブの生徒が、これまでにどんな活動にパッション（情熱）を持って活動してきたか過去を振り返りながら、自分の学ぶテーマを考えました。このプログラムにはローターアクトメンバーにも参加してもらい、一緒に勉強しました。

*トビタテ！留学 JAPAN プログラムとは文部科学省が意欲と能力のある全ての若者のための留学促進キャンペーンを 2013 年から開始。2020 年までに大学生と高校生の海外留学数の倍増を目指プログラムです。



トビタテメンバーによる体験談を聞く



自分の学びたいテーマを考える



最後にローターアクト、インターアクト、トビタテ生との集合写真



青少年交換長期受入学生の オリエンテーション

～伊勢旅行

地区青少年交換委員会 委員 田中 博章

平成 29 年 2 月 12 日、青少年交換長期受入学生のオリエンテーションである伊勢旅行が行われました。この旅行行事は、毎年行われている行事で、日本独特の宗教文化に触れてもらう目的で伊勢神宮を見学することにしており、日帰りで実施しました。



今回、私は、山田委員長や米澤委員ご夫妻と一緒に、7名の長期受入留学生の方を引率することにしました。また、今年夏に送り出しが決まっております日本人留学生も、2名の方が参加してくれました。

日帰り旅行のため集合時間は非常に早く、7時40分に天王寺駅に集合しました。私のほか、2名の長期受入学生と1名の送出日本人留学生は和歌山からの出発で、6時16分の和歌山駅発の快速に乗って出発しました。天王寺駅では1名寝坊しましたが、電車の時刻に無事間に合い、全員揃って予定の電車に乗って出発しました。

近鉄特急に乗って、車内ではみんなで雑談などをして盛り上がりました。途中、奈良から伊賀に掛けての山中を走っていた際、車窓からは雪景色が広がっておりました。留学生の子らは、雪景色に喜んでおりました。

伊勢には午前10頃に到着しました。まず、外宮まで歩いて向かいました。外宮は小さく、

内宮は大きいとは一般に言われますが、外宮の中を何カ所か参拝するために歩き回っておりますと、足がガクガクになってきて、早くもダウンしそうになりました。留学生や日本人留学生は元気で、軽やかに歩き回っておりました。途中、山田委員長が、流ちょうな英語で、大きな石の橋が亀に似ている、と解説しており、みんな聞き入っておりました。



外宮は予定よりも早く参拝が終わり、バスで内宮の方に向かいました。内宮前に着いて、勢乃國屋で昼食を取りました。マグロ漬井や、伊勢うどんや、海鮮料理を楽しみました。個人的には、日頃よく口にしている讃岐うどんと全く食感が違う伊勢うどんが面白かったです。マグロ漬井を一所懸命に頬張っていたりしている留学生の姿が印象的でした。

食事を終えた後、内宮に向かいました。内宮では、お神楽の祈拝を受けました。一同、巫女の舞や雅楽に聞き入っておりました。境内内の大きな大木に、みんな引き込まれておりました。

その後、おかげ横丁に寄って、買い物をし、帰りました。天王寺駅に6時30分に到着し、解散しました。

日帰りでしたが、伊勢を一日掛けて楽しむことができました。伊勢神宮は、古くからある大木が、きれいに人の手入れがなされた状態で並び立っており、また木造と藁葺きでできた神殿から成り立っております。極めて人工的でありながら、同時に非常に自然のままでもあります(京都の寺社もそのような特徴が見られます)。キリスト教圏や仏教圏から来た留学生にとって、こうした日本独特の自然と人工といった、相反する要素が調和のとれた状態で混ざり合う文化の特徴を味わって頂けたら、幸いです。

I A C 海外研修報告会

地区インターアクト委員長 木本 圭二

インターアクト海外研修報告会を平成 29 年 2 月 19 日、清風南海中学・高等学校で開催いたしました。



清風南海中学・高校 平岡正巳理事長(羽衣 RC)の挨拶

平成 28 年 12 月 25 日からタイ王国（バンコク、ロブリー）に海外研修を実施した報告会を開催しました。

午前中は現地 4 日間をビデオで振り返り、午後からの時間はホームステイ先での体験を生徒に発表してもらいました。この日はあいにく英語検定試験の日と重なり、全員の体験談は聞けませんでした。タイのロータリーメンバーの家にホームステイしたこと、ほとんどの生徒は立派な家で満足のいく料理をご馳走になったようです。今後の課題として、一般の家庭や貧しい家庭でのホームステイも視野に入れたプログラムも必要ではないかと感じました。



生徒によるホームステイ先での出来事を発表



タイ、ロブリーのロータリークラブメンバーには大変お世話になり、ロブリー市内の移動はパトカーの先導車付きで、暑い気候のため常にミネラルウォーターの用意をしてくれていました。

ロブリーは首都バンコクから北に車で約 3 時間のところにあり、多くの遺跡の他、プラバートナンプ寺（通称：エイズ寺）があり、寄付金により運営されています。



同行したロータリアンや引率の顧問教師の先生にも多額の寄付をしていただきました。現在約 200 人のエイズ患者が治療を受けていますが、年に 10 名程度亡くなる患者がいます。10 年以上前は今の 10 倍以上の患者が亡くなり、敷地内にあるアメリカ製の火葬炉は故障で使えなくなり、今も放置されたままです。



今回の海外研修では、修学旅行やツアーでは行けないバンコクのスラム街での幼稚園児との交流を体験したりし、生徒達にとっては貴重な経験をする事が出来ました。

次回、地区インターアクトは 2016-17 年度での最後の事業となります。

6 月 18 日（日）、賢明学院高校（堺市堺区霞ヶ丘町）に於いて、新入生歓迎会を開催します。この日は 2720 地区、大分県のインターアクト生を招いての合同開催となります。事前に各クラブに案内を出しますので、是非ご参加ください。

クラブ活動報告

2016 年度『堺かるた』大会協賛および優勝トロフィー寄贈

堺清陵ロータリークラブ

平成 29 年 2 月 4 日（土）堺市立熊野小学校体育館に於いて“2016 年度『堺かるた』大会”が開催されました。当クラブでは、寄付による協賛を行い、優勝チームへは会員手作りの錫（スズ）製優勝トロフィーを寄贈しました。

当クラブは、昨年度からの会員増強に伴い、地域への社会奉仕の気運が高まっておりました。そのような時『堺かるた』大会への支援の要請を受け、今年度から社会奉仕委員会と青少年奉仕の事業の一環として協賛・参加を行うことになりました。



世界一 広い大きな 大仙陵

『堺かるた』は昭和 51 年に、別所やそじさんから小学校の先生方が、堺が誇る児童文化誌『はとぶえ』の活動を通して、子どもたちに郷土愛を育むことを第一の目的とし、作り上げられたものです。郷土愛を育むにはまず知ること。リズムをもって身体にしみ込ませ、記憶の引き出しにしまい込んでおいて欲しいとの思いを込め、5・7・5 調のわかりやすい文体に仕上がっています。

こうして作られた『堺かるた』はその後 10 数年、競技大会等も盛んに行われ愛されてきましたが、次第に活用されなくなっています。

長い年月を経て 2013 年、堺北西南西ロータリークラブが 20 周年記念事業として『堺かるた』を復刻し、第 1 回目の『堺かるた』大会を開催。

堺市子ども会育成協議会とのパイプをつなげ、競技会の基礎づくりに大きな功績を残されました。そしてこの活動が『堺かるた』の会の発足につながり、今では『堺かるた』大会は『堺かるた』の会と堺市子ども会育成協議会が中心となり運営しています。



当クラブは『堺かるた』を通し、子どもたちの郷土愛を育み、又、堺市民をはじめ多くの人々に堺の伝統・文化・歴史を伝えるというこの試みに賛同し、今回の活動へ協賛・参加した次第です。

競技は団体戦。三人一組で戦います。競い合う子どもたちの目が輝きます。負けて泣き出す子どももいる程、その勝負は真剣です。

熱戦の後、表彰式では当クラブから優勝トロフィーを授与いたしました。錫製のそれは小学生には持てない



程の重さでしたが、誇らしさで優勝者 3 人の笑みがこぼれました。子どもたちの闘いぶりに感動し、また『堺かるた』を通して、日頃忘れがちな郷土の歴史・文化を普及する良い機会となりました。



2016～2017 年度 和歌山市内 9RC
インターシティ ミーティング (I. M.)

「フィリピンに保育園を建設」
～ 和歌山市内 9RC 合同プロジェクトとして ～

報告者：和歌山中ロータリークラブ
I. M. 実行委員会 幹事 宮本 裕史

和歌山市内 9 ロータリークラブは、2 月 11 日 (土) 和歌山市手平の和歌山ビッグ愛 大ホールで「インターシティ ミーティング (I. M.)」を開催。第 2640 地区 岡本ガバナーエレクト、山下ガバナー補佐、檜畑ガバナーノミニーを始め、市内 150 名のロータリアンが、I. M. ホストクラブ 和歌山中 RC の姉妹クラブであるフィリピン・サンペドロ RC の会員ら一行 10 名を招き、和歌山市内 9RC 合同プロジェクトの概要紹介や各クラブ代表者による奉仕活動への取り組み報告、提言を行なった。

① 今回 I. M. のテーマ：

今年度 RI テーマ「Rotarians Serving Humanity」に沿って、「私たちは若い世代のために何をすべきか。選択肢としてどんなプロジェクトが考えられるか。」をテーマに、オバマ大統領の最後の国連演説から「～ and give all of our children the education that is the foundation for opportunity in our world.」をサブタイトルに掲げた。

② I. M. 開催と合同プロジェクト実施の趣旨：

- (1) 各クラブ奉仕活動取り組み状況の相互理解および将来のプロジェクトへの提言
- (2) クラブ単独で実施可能なプロジェクトには限界があるため、市内 9RC 合同でよりインパクトのある奉仕活動を実施することが出来ないか？ 今年度は、ホストクラブ和歌山中 RC 提唱のプロジェクトを市内 9RC で協力・支援

③ I. M. 内容：

- (1) サンペドロ RC ジュン・リー会長が市内 9RC 合同プロジェクトの概要を紹介。サンペドロ市 貧困 地区に 3～4 歳児 150 名収容のデイケアセンター保育園を建設し、給食サービス、英語の初等教育ほかを提供する。今年 3 月着工、9 月竣工予定。総工費 340 万円のうち、今回の I. M. 予算と各クラブ



林 I.M. 実行委員長から、サンペドロ RC ジュン・リー会長へ 15,000 \$ の支援金贈呈



和歌山市内 9RC の会長にサンペドロ RC からのプロジェクトへの感謝盾を贈呈/ 贈呈セレモニー後皆様で記念撮影

追加協賛金により、市内 9RC から約 170 万円 (15,000 \$) を支援。不足金はサンペドロ RC 会員が拠出、建設用地はサンペドロ市が用意する。(↓ 保育園完成予想図 参照)



デイケアセンター保育園完成予想図

- (2) I. M. ホストクラブの和歌山中 RC は、1991 年以来サンペドロ RC と共同でサンペドロ

市に9カ所のデイケアセンター保育園を建設し、また保育園卒園生を対象にフィリピンでの大学奨学金を支援するプロジェクトを継続している。これまでの保育園卒園生は累計8,900名、奨学金を支援した大学生は18名に

上る。今回のI.M.に招待され、貧困家庭出身で保育園卒園かつ大学



スピーチするジュビー・ラスさん

奨学金の支援を受けたジュビー・ルースさんは、『これまでの私の人生における最大の出来事、それはロータリークラブの皆様と出会ったことです。フィリピンでは、誰もが保育園に通うことが出来ない状況なのに、私には家のすぐ近くにロータリークラブの皆様が作ってくれた保育園がありました。保育園での基礎教育のお蔭でアルファベットの習ったり、しつけを身に付けたり、集団生活がどういうものかを学びました。その基礎教育がその後の私の勉学の土台を築いてくれたのです。そして、時を経て、再びロータリークラブの皆様の手で大学教育まで導いて頂きました。現在一流企業で働き、家族をささえることが出来ているのも、ロータリークラブの皆様のお蔭です。ロータリークラブの皆様は私と私の家族の人生を大きく変化させ、未来への希望をもたらしてくれました。心の底からお礼申し上げます。』と感謝の言葉を述べた。

*ジュビーさんは、マニラの一流大学サンファン・レトラン大学会計学科を首席で卒業し、公認会計士資格を取得して、現在プライス・ウオターハウス・クーパース勤務。

(3) I.M. 後半では、和歌山市内9ロータリークラブ代表者が現在の奉仕活動の状況を述べ、また今後のI.M. 合同プロジェクトを視野に入れた提言を行なった。和歌山東南RC代表

の中岡 隆文国際奉仕委員長は『これからの国際奉仕活動』と題し「われわれロータリアンが若い世代のためにできることは、教育を受けられる環境を作ることが一番大



発表される中岡会員

切なことであり、その方法としての選択肢は無数にあります。まずは、I.M.の各クラブが現在おこなっているプロジェクト、または、今後計画中のプロジェクトに目を向けることにより、予算化も容易で、場合によっては現状よりも規模等を拡大し、スケジュール的にも次年度よりの実行が可能になると思います」と発表。

4 I.M. のプレスカバー：

I.M. 開催の広報記事が下記新聞に掲載されました。

(1) 毎日新聞	2月12日
(2) 産経新聞	2月12日
(3) 和歌山新報	2月16日

毎日新聞 2017年2月12日 地方版（転載）

和歌山市内の9ロータリークラブ(RC)が一堂に会する集まり「インターシティミーティング」が11日、同市手平2の和歌山ビッグ愛であった。9RCの会員計約150人が参加し、合同で取り組むフィリピンでの幼児教育施設建設事業などについて理解を深めた。

同事業に中心的に取り組む中RCでは約25年前からフィリピン・ラグナ州のサンペドロ市や地元RCと協力し、同市の貧困地区に9施設を建設。10施設目は9RC合同で取り組むという。

この日は現地の関係者などを招き、事業の成果や重要性を説明した。同施設で学び、現在は現地の有名企業に勤務しているジュビー・ルース・



グティエレスさん(25)は「教育が人生を変えると、身をもって体験できた」と感謝し、地元のサンペドロRCから9RCへ感謝の盾も贈られた。【成田有佳】

ロータリー モニュメント

和歌山電鐵貴志川線のインフラ整備

和歌山東南ロータリークラブ

2015～16 年度 会長 平 平治

社会奉仕委員長 市川 正夫

和歌山東南ロータリークラブ創立当時の所在区域であった和歌山市の東南部には、市を代表する日前ひのくまじんぐう くにかがすじんぐう かまやまじんじゃ い だ き そ じんじゃ 神宮・国 縣 神宮、竈山神社、伊太祁曾神社という三つの神社があり、この三社詣りに最適な交通機関として和歌山電鐵貴志川線があります。一時、廃線の危機にあったこの路線は、経営が別の会社を引き継がれたのを契機に、地域の市民グループなどの支援活動が活発になり、又、ユニークな電車「たま電車・イチゴ電車・おもちゃ電車など」の採用や、三毛猫「たま」の貴志駅駅長就任と、その「たま」のしぐさと表情の癒し効果などが話題になり、ローカル線が瞬く間に全国区になり、今では海外のメディアにも紹介され外国からの訪問者も増加しております。しかし、その人気とはなかなか比例せず、経営内容はいまだに厳しい状況が続いていると聞いております。

前年に、和歌山電鐵の麻生部長様に当クラブの外部卓話をお願いしたご縁もあり、何とかこの現状を少しでも改善するための方策や効率的な支援と協力にクラブとして今、何ができるかを検討するため各駅の乗降客数の推移や乗客の乗車目的や客層などの変化などについて資料を取り寄せ行いました。その結果、貴志川線の駅ホームのベンチ等の整備にも手を加えられずにいる処が多々あるとの事でしたので、この計画立案に先立ち、貴志川線全駅のホームの状況等について事前調査を行いました。

まず、各駅毎に最適なベンチの設置場所やベンチの形状と設置可能台数の調査を進めました。その調査結果より、優先とする設置駅と設置台数を絞り込み、クラブの予算額に見合う調整を済ませたうえ和歌山電鐵様にプランを提出し、調整・協議を進めました。たかがベンチとは云えどもインフラを整備することによっ



るのではないのでしょうか。

て長期に亘り、地域のお年寄りや子供達がホームを安全・快適に利用できるようになれば今後、貴志川線の利用客の増加につながる

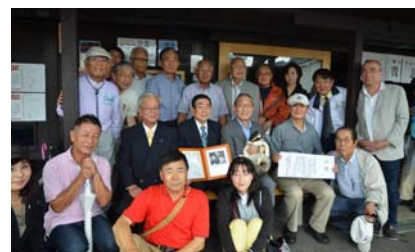


ベンチにはロータリーマークとクラブ名を記入していますので県内外や外国等からの来訪者に利用して貰うことで目に留まり、ロータリー活動のPRにおおいに繋がるものと期待しています。和歌山電鐵貴志川線の5駅（和歌山駅、日前宮駅、交通センター前駅、伊太祈曾駅、貴志駅）のホームにベンチ8脚を設置し、9月6日、貴志駅において贈呈式、除幕式を行いました。今回の式典は、6月に亡くなった「たま駅長」の後を引き継いだ「ニタマ（たまⅡ世）駅長」の就任後初の公式行事でしたが、堂々と仕事をこなし、同電鐵の小嶋社長様も満足げでした。

設置後、駅利用客が早速利用され、木の温もりがあって座り心地がすごくいいと喜んでおられました。小さな奉仕活動ではありましたが、全国紙をはじめたくさんのメディアに報道してもらうことができました。「たま駅長」のこれまでの功績が非常に大きかったと感じさせられると同時に、「ニタマ駅長」には大きな声援と期待がかけられていると思いました。



この年はクラブ創立45周年記念の年度でありましたので、社会奉仕委員会の事業に加え、45周年記念事業委員会の協力で予算の増額もして頂き、併せてロータリー財団、地区補助金も活用することができましたので大変助かりました。



ベンチ設置に関しては、工事業者の手を借りることなく20名の会員が参加協力し、搬入、

組み立て、設置の全てを行いました。又、駅構内、ホームでの作業でしたので、安全確認のため和歌山電鐵の麻生部長様はじめ、駅係員の皆様の立ち合いを頂き、事故もなく無事作業を終えることができました。ありがとうございました。

我がクラブのテーマ

和歌山東ロータリークラブ

会 長 上中 崇司

テーマ 『 仲間を増やし、社会に貢献しよう 』



我が和歌山東ロータリークラブは来年、創立 60 周年を迎えます。先輩方が築いてこられた歴史と伝統を尊重し、良い前例は踏襲を、そして変えてゆかなければならない事は十分に議論して時代に合ったものに变化をさせる、そうすることでクラブを活性化させ、会員ひとりひとりが輝いている、そんなクラブ運営を心掛けております。

社会奉仕活動を中心としたロータリークラブの行う事業で、夢や希望を多くの方々に与えられる事こそがロータリアンの責務と考えます。

また、親睦活動を大切にし、会員増強を重要項目として取り組んでいきたいと思ひます。



和歌山北ロータリークラブ

会 長 青木 保誠（あおき やすせい）

テーマ 『 ロータリーを楽しく！ 』



今期のテーマは、「ロータリーを楽しく！」と決めさせて頂きました。ロータリーに興味を持って頂き、難しい理屈ではなく分かり易くロータリーの楽しさを感じて頂ける様心掛けたいと思ひます。

本年度 R I テーマ「人類に奉仕するロータリー」とは、ロータリアンが語らい、笑い、アイデアを分かち合う集い。しかし、私達が集う一番の理由は、「奉仕」のためです。と R I : ジョン・F・ジャーム会長の言葉です。ロータリアンとして日々の生活の中で「四つのテスト」を自分自身にいつも問いかけ、多くの方々からの意見を聞き、そしてその意見を大切にし、皆さんと共に成長していければと思っています。

また、和歌山北ロータリークラブのモットーであります「親睦」「和」を第一に考え、夏：花火例会、秋：日帰り親睦旅行、冬：年末家族会を行い、春には、花見例会・親睦旅行を予定し、クラブの発展のため、誠心誠意私なりに頑張って参りたいと思ひます。

我がクラブのテーマ

田辺はまゆうロータリークラブ

会 長 菅根 清

テーマ 『ときめく例会へ』

例会場であります闘雞神社は、昨年10月、「紀伊山地の霊場と参詣道」の世界遺産に追加登録されました。世界でも数少ない世界遺産の例会場ということで、クラブ員全員の士気が上がっているところです。しかし、よくよく考えれば、世界遺産になったのは私たちの力というのではありません。「世界遺産に負けないような例会にしていこう」と言っても、どの様なものなのか想像もつきません。やはり、私たちは、毎週の例会を営々として行っていき、クラブ員同志の親睦を深め、奉仕活動を行い、自らを高めていく事を続けることなのかなと思います。そして、その基準が、「心がときめいているかどうか」なのだと思います。

また、今年は、創立25周年という節目の年になります。気持ちを引き締めて先輩達の業績を受け止め発展させていきたいと考えています。

写真は、新年例会の前に行われる闘雞神社でのお祓いの時のものです。



橋本ロータリークラブ

会 長 森本 和洋

テーマ 『親睦を図り友愛の絆を深めよう』



橋本ロータリークラブは昨年度創立60周年を迎え、今年度は61年目を歩んでおります。

思いますに、60年の長きに渡り続けてこられた要諦はと云いますと連綿と続けてきた親睦の心とその結果としての友愛の気持ちの継続であります。それは何も現会員のみならず泉下の人となられた方の行動・業績をも含んでの友愛の絆となっていると思っております。近隣クラブ様ともイベント・委員会などを通じて親しくさせて頂きたいと思っております。ロータリーはある意味、理念の基にある団体でその理念が共通しているからこ

そメーキャップでどこのクラブへ行っても暖かく迎えてくれます。ですが先ずは顔の見える近隣クラブ会員が最も大切です。宜しく願い致します。

「人は石垣 人は城」とはロータリークラブの為にあるようなコトバですが、そうたらしめているのは友愛の絆だと思っています。どうか2640地区のクラブの皆様、宜しくお付き合いの程お願い致します。



第2640地区 会員数・出席報告（2017年1月）

クラブ名	会員数		入会		退会		例会数	1月 出席率	平均 出席率	クラブ名	会員数		入会		退会		例会数	1月 出席率	平均 出席率
	16.7.1	1月末	1月	累計	1月	累計					16.7.1	1月末	1月	累計	1月	累計			
有田	27	26	1	1	1	2	3	88.70	84.52	那智勝浦	17	17	0	0	0	0	4	87.50	80.43
有田2000	18	18	0	0	0	0	3	92.59	92.52	堺利晶	8	0	0	0	0	8	0	0.00	0.00
有田南	31	30	1	1	0	2	3	82.29	89.38	大阪金剛	16	16	0	0	0	0	3	77.20	84.70
ワールド大阪	24	25	1	3	0	2	4	100.00	100.00	大阪狭山	11	13	0	2	0	0	3	92.30	94.80
Rotary E-Club Sunrise of Japan	16	20	1	5	0	1	2	85.00	91.24	りんくう泉佐野	17	17	0	0	0	0	3	89.58	90.13
御坊	42	41	0	0	0	1	4	74.52	80.78	堺	56	60	1	6	0	2	3	94.45	93.81
御坊東	16	18	0	2	0	0	3	72.22	79.36	堺東	27	27	0	0	0	0	4	94.19	95.34
御坊南	29	29	0	0	0	0	3	95.24	90.26	堺フラワー	13	3	0	0	0	10	2	100.00	75.00
羽曳野	14	14	0	2	0	2	3	94.67	92.70	堺泉ヶ丘	21	21	0	0	0	0	4	91.67	94.05
羽衣	15	15	0	0	0	0	3	68.80	81.04	堺中	22	22	0	0	0	0	3	60.00	78.45
橋本	52	51	0	0	0	1	3	93.04	94.89	堺北	30	31	0	2	0	1	4	90.32	91.69
岩出	26	28	0	2	0	0	4	89.29	89.95	堺おおいずみ	32	30	0	0	1	2	3	87.36	82.85
和泉	21	25	1	5	0	0	3	90.28	95.51	堺フェニックス	32	85	0	65	0	9	2	100.00	100.00
泉大津	39	40	1	3	0	2	3	92.42	91.77	堺清陵	22	22	0	0	0	0	4	93.42	90.07
泉佐野	27	28	0	1	0	0	3	92.31	96.68	堺南	11	11	0	0	0	0	3	100.00	96.11
和泉南	34	33	1	1	0	2	4	61.46	64.46	堺東南	10	9	0	0	0	1	4	85.42	87.07
海南	25	25	0	0	0	0	3	70.70	70.20	新宮	52	53	0	2	0	1	3	69.81	71.32
海南東	44	43	0	1	0	2	3	72.09	71.19	白浜	10	10	0	0	0	0	2	90.00	95.36
海南西	20	19	0	0	0	1	3	80.17	82.75	太子	13	15	1	2	0	0	4	84.70	84.10
貝塚	16	17	0	1	0	0	4	98.44	96.02	高石	27	27	0	0	0	0	4	75.00	75.35
貝塚コスモス	12	11	0	0	0	1	3	100.00	89.36	高師浜	14	13	0	0	0	1	3	94.87	90.73
関西国際空港	20	20	0	1	0	0	3	95.00	93.15	田辺	82	85	1	5	0	2	3	87.40	86.79
河内長野	21	20	0	2	0	1	4	90.90	86.80	田辺東	47	50	1	4	0	1	3	88.69	91.67
河内長野東	23	22	0	0	0	1	3	80.12	83.14	田辺はまゆう	42	43	1	3	0	2	3	77.23	77.74
河内長野高野街道	13	14	0	1	0	0	3	66.50	69.10	富田林	34	34	0	0	0	0	3	71.36	71.77
岸和田	30	29	0	0	0	1	3	76.83	80.68	富田林南	12	12	0	0	0	0	3	77.78	80.33
岸和田東	38	37	0	1	0	2	4	97.08	97.62	和歌山	64	68	1	4	0	0	4	75.94	80.15
岸和田南	11	10	0	0	0	1	3	80.00	85.03	和歌山アゼリア	32	32	0	1	0	1	3	80.98	83.38
粉河	18	18	0	0	0	0	3	90.00	97.18	和歌山東	42	44	1	3	0	1	3	87.63	86.60
高野山	17	17	0	0	0	0	4	79.75	82.89	和歌山城南	41	44	1	4	0	1	3	74.41	77.56
KUMATORI 向日葵	5	6	0	1	0	0	2	100.00	100.00	和歌山中	30	29	0	1	0	2	3	86.97	80.44
串本	11	12	1	1	0	0	4	77.08	78.01	和歌山北	36	37	1	4	1	1	3	73.33	62.99
松原	16	17	0	1	0	0	4	90.90	92.96	和歌山南	75	80	1	6	0	1	4	78.32	82.25
松原中	26	28	0	2	0	0	4	90.27	82.66	和歌山東南	44	42	0	0	0	2	3	82.01	85.78
美原	6	6	0	0	0	0	3	100.00	99.00	和歌山西	13	12	0	2	1	3	3	83.33	84.86

クラブ	7月1日 会員数				1月末 会員数				月平均 出席率	入会		退会	
	男性	1,689	女性	169	男性	1,745	女性	181		1月	累計	1月	累計
69	1,858				1,926				85.38	18	154	4	77

地区行事予定

2016年		3月 水と衛生月間 (Water and Sanitation Month)	
日	曜日	行事(時間)	会場
5	日	クラブ青少年交換委員長会議 (13:30~16:00)	りんくう国際物流センター
12	日	PETS ①	ダイワロイネットホテル和歌山
		青少年交換委員会 第3回長期派遣候補生オリエンテーション	りんくう国際物流センター
18	土	2016学年度 米山記念奨学生終了式及び歓送会	ホテルきらりリゾート関空
23	木	ガバナー補佐・地区幹事合同会議	ガバナー事務所
25	土	ロータリー財団補助金セミナー (13:30~16:00)	テクスピア大阪
27	月	会員基盤向上セミナー	ホテルオークラ東京
28	火	会員基盤向上セミナー	ホテルオークラ東京

2017-18年度テーマ「ロータリー：変化をもたらす」



RI会長エレクト イアン H.S. ライズリー



国際ロータリー第2640地区

ガバナー事務所のご案内

〒590-0985 堺市堺区戎島町 4-45-1
 ポルタスセンタービル 1階 101号室
 TEL (072) 223-1000
 FAX (072) 223-1005
 URL : <http://rid2640g.com/fukui/>
 E-mail : fukui2016@wind.ocn.ne.jp



Rotary International Convention
 HOST ORGANIZATION COMMITTEE

Rotary



米国・ジョージア州アトランタ

2017年6月10~14日

www.riconvention.org/ja

